



## 町民と行政による協働のまちづくりに向けて 2つのまちづくり委員会が合同活動発表会を開催

2月9日、「協働のまちづくり推進委員会」と「まちづくりデザイン会議」による合同活動発表会が野沢体育館で開催され、これまでの活動や成果についてグループごとに発表を行いました。

協働のまちづくり推進委員会は、第4次西会津町総合計画の推進にあたり、町民の皆さんの自発的な参画により、町民主体の協働のまちづくりを一層推進するため設置し活動しています。また、まちづくりデザイン会議については、町中心部の野沢・尾野本地区を区域とした「中心エリア整備構想」の策定と、まちなかに不足している機能の発掘・機能強化等に対する町民主体の協働によるまちづくりを一層推進するため活動しています。

発表会では、各委員会が4つずつのグループに分かれて発表を行いました。JR野沢駅やにぎわい番所ぶらっとなどの施設の活用、農業施策に関する提言、空き家や遊休施設を使ったにぎわいの創出など具体的な内容もあり、協働のまちづくりの機運をさらに高める貴重な機会になりました。



## 健康づくりの習慣化を目指す さすけねえわ健康セミナーを開講

町では、「からだ」「こころ」「つながり」の健康を目指して、よりよい健康づくりの習慣を身に付け実践できるようになることを目的とした「さすけねえわ健康セミナー」を1月17日に開講しました。

同日の開講式後には、第1回目のセミナーが開催され、11人が参加しました。この日はまず参加者の体重・体脂肪率・血圧を計測し、自分の健康状態について確認したほか、町役場健康増進課の物永葉子主任専門管理栄養士より、町健康増進計画について講話がありました。その中で「寿命を延ばすだけが目的ではなく充実したその人らしい人生が送れるよう、からだ・こころ・つながりの3つの健康の輪で“さすけねえわ”を目標にしています。これを大きくしていきましょう」と話がありました。

そのほかにも、ラジオ体操の解説動画で正しい動きの実践や、鎌田實医師の健脳ドリルを利用した実習を行い、参加した皆さんは楽しみながら体も頭も使って、それぞれの目指す健康づくりをスタートさせました。本セミナーは、3月6日まで7回の日程で行われます。



▲町公民館で開催された第1回セミナーの様子

## アントレプレナーシップ教育の発展に向けて連携 武蔵野大学と包括連携協力に関する協定を締結

町では、武蔵野大学アントレプレナーシップ研究所（東京都）と包括連携協力に関する協定を締結しました。同研究所では初の協定締結であり、2月7日に町役場において締結式が行われ、薄町長と伊藤羊一所長が協定書に署名しました。

武蔵野大学では、令和2年7月に本研究所を開設し、アントレプレナーシップ（事業を創造する姿勢や精神）を発揮していく人材の輩出やそれに関する教育などの研究を推進しています。また、令和3年春には学内にアントレプレナーシップ学部も開設され、昨年4月からは西会津中学校でのアントレプレナーシップ教育において、同学部の学生による授業連携を試験的に実施してきました。

本協定では、西会津中におけるアントレプレナーシップ教育に係る事業の実施に加え、教職員と研究者による相互の学びの実現や児童生徒と大学生の交流によるキャリア教育の推進などを目的としています。



## 自己ベストを目指し、次の大会での飛躍を誓う 西高ボート部が大会結果と全国大会出場を報告

2月13日、西会津高校ボート部の皆さんが町役場を訪れ、薄町長にこれまでの大会結果と併せて全国大会への出場を報告しました。

西高ボート部では、本年度の国民体育大会で福島選抜として出場した女子ダブルスカルの高城愛里さん（3年）と古川萌さん（2年・橋屋）が7位入賞を果たしました。このほかにも、男子シングルスカルの小柴健太郎さん（2年）が先日の東北高等学校選抜大会で準優勝し、3月に静岡県で開催される全国大会への出場が決まっています。



▲写真左から長谷川孝先生、小柴さん、薄町長、古川さん、高城さん、渡邊雅彦校長

## 3人を再任 経験を生かした適正な業務に取り組む 町固定資産評価審査委員会委員に辞令

固定資産の評価に関する不服の審査決定を行う固定資産評価審査委員会委員の辞令交付式が1月19日に行われました。式は町役場で行われ、伊藤重人さん（塩・写真中央）、齋藤和則さん（上野尻）、高濱悦子さん（8町内）の3人を再任し、薄町長が一人一人に辞令書を手渡しました。なお、委員の任期は、本年1月1日から令和7年12月31日までです。





民生児童委員として現在 10 期目、長年の活動が高い評価

## 伊藤哲雄さん 厚生労働大臣表彰を受賞

昨年 12 月 13 日に東京都で開催された「全国社会福祉大会」において、伊藤哲雄さん（向原）が社会福祉功労者に対する厚生労働大臣表彰を受賞しました。伊藤さんは平成 7 年 12 月から現在まで民生児童委員として活動しており（10 期目）、平成 22 年 12 月からは西会津町民生児童委員協議会の会長を務めています。

伝達式は 1 月 19 日に町役場で行われ、薄町長が表彰状などを伝達したほか、「多様なニーズがあふれる現代社会の中で、地域福祉のために引き続きがんばっていただきたい」とあいさつしました。



## 町長コラム

## その 31



田舎暮らしに関する月刊誌がある。本年 2 月号の中で 2023 年版第 11 回「住みたい田舎」ベストランキングが発表された。全国 1718 市町村にアンケート調査が行われ、回答のあった 671 市町村（県内 22 市町村）について、人口別に 4 部門でのランキングである。西会津町は、人口 1 万人未満の町 150 自治体の中で、「シニア世代部門」で 12 位、「子育て世代部門」で 17 位、「若者世代部門」で 10 位、総合部門では 23 位という結果が発表された。

この結果は、これまで町が取り組んできた各種施策が他市町村と比較し充実しているということなのかどうか、詳細に分析しないと判断できないところではあるが、専門誌に発表されたことは町にとって大きな PR になりそうだ。

先日、町のお試し住宅「O<sub>+</sub>t<sub>+</sub>a<sub>+</sub>m<sub>e</sub>」を利用されている夫婦から話を聞く機会があった。普段は東京在住で、今回が 2 度目の利用とのこと、子どもはこゆりこども園の「一時預かり保育」を活用し、日中はテレワークをしている。夫婦は、西会津町の子育て支援は素晴らしく東京では考えられない、地域住民の皆さんがとても優しく親切に接してくれると話し、町に住んでみたいと高い評価をいただいていた。今後も、町では子育て支援や学校教育をさらに充実させ、交流人口や関係人口を増やし、移住・定住に結びつけていきたい。

西会津町長

薄 反喜

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

### 有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

- ◆大きさ 1 枠当たり縦 4.0 cm × 横 8.5 cm
- ◆掲載料 1 枠当たり 5,000 円 / 月

〈問い合わせ先〉

企画情報課 広報広聴係 ☎ 45-4536